

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 <small>かみたにがみ</small> 上谷上川	神戸市北区 <small>かみたにがみ</small> 上谷上		約1.2 (約23百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神戸市 北区 上谷上				H14年度	H16年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでいるうえ、裏山斜面も荒廃しており土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工及び山腹工を施工して地域医療の拠点である県立光風病院を保全する。	・砂防堰堤工 1基 (H=7.0m, L=35m) ・山腹工 A=1,500

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・上谷上川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃も広範囲に及んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・また、裏山の斜面部は急傾斜地崩壊危険箇所にも該当している。 ・流域状況は急峻な地形で、脆弱な地質(第三紀層神戸有馬層)である。 ・保全対象 :災害弱者関連施設 = 県立光風病院(重要)
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域にある病院敷地の有効な利用促進が図れるようになる。 ・また、病院施設が保全されることによって、地域医療のより一層の充実に寄与する。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、入院患者が安心してリハビリなどの広場利用が可能となる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者関連施設対策五箇年計画に位置付けられている。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・県立光風病院の患者及び従事者の人命及び病院施設の財産が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・県有地が一部あり、病院側との協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者関連施設対策五箇年計画に位置付けられている。 ・土石流の想定被害区域には地域医療の拠点である県立光風病院がある。 ・流域状況は急峻な地形、脆弱な地質と相まって荒廃が進み、荒廃度が10%を越えている。 ・このため土砂流出の危険性が高く、早急な対策が必要である。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------